

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな

小林一茶

〈調べた内容〉

季語：雪とけて 季節：春

この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風

上島鬼貫

〈調べた内容〉

季語：秋の風 季節：秋

この俳句は、「秋のここちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」が

おもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)

中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。

「くりくり」というのは、月の(A)を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似て

いるね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。(音読)

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月か

らも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが

言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

一 中西さんは、【話し合いの様子】の（ A ）でどのように発言したでしょうか。（ A ）に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 かすんでいる様子
- 2 まっ白い様子
- 3 まんまるい様子
- 4 欠けていく様子

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと